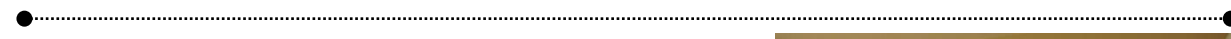


平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ワインバス運行事業
事業主体 (連絡先)	(一社) 塩尻市観光協会 0263-54-2001
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,384,640 円 (うち支援金 : 1,861,000 円)



事業内容

- 桔梗ヶ原ワインバス
市民交流センター、塩尻駅東口から、桔梗ヶ原ワインバレーにある林農園、井筒ワイン、信濃ワインを回るルートにて9月の土日祝日(12日間)に運行した。
- 広域周遊バス
高速道路みどり湖PAを起点とし、サンサンワイナリーから、桔梗ヶ原ワインバレー及び日本アルプスワインバレー(安曇野市、松本市)二つのワインバレーを周遊する企画として実施した。本年度は計4回実施した。



【サウワイナリー】
(戸川氏による醸造施設の説明)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ブドウの収穫時期(9月)に合わせてバスを運行した。香り豊かなナイヤガラ香りやメルローの古木など、参加者にこの地域のテロワールを体感いただいた結果、高い満足度を得ることができた。
- 着地型の旅行プランとして、ワイナリーへの二次交通を確保することで、参加者の利便性と満足度向上につながった。両エリアのワイナリーを周遊することで、広域エリアの観光情報発信を行うと共に、観光産業の活性化に寄与した。
- 両プランとも極めて高い満足度を得ることができた。

- ① ワイン産業の総合6次産業化
- ② ワイナリーへの二次交通の確保
- ③ 松本地域観光産業の活性化

【目標・ねらい】

※自己評価【A】

【理由】
利用者アンケートでは、97%の方から「満足」との回答が得られた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

桔梗ヶ原ルートは、30年度新たに信州まつもと空港の利用者をターゲットに運行距離や本数を増便し実施した。次年度も継続していきたい。
広域周遊ルートについては、極めてタイトなスケジュールとなっており、アンケート結果を基にルート設定を検討していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある